

オプトアウト

当院で行っている直腸隆瘻、肛門括約筋機能不全の診療に関しまして、以下の臨床研究を実施しております。

本研究に関しては患者さん個人への介入、侵襲はなく、通常の診療行為で得られた匿名化した既存情報の分析のみを行います。

1. 直腸隆瘻および肛門括約筋機能不全に対するコロナ禍における受療行動の変化についての研究

【研究課題】

直腸隆瘻および肛門括約筋機能不全に対するコロナ禍における受療行動の変化について

【研究対象】

2020/4~2021/9 および 2023/5~2024/10 のそれぞれ 18 ヶ月の期間に初診で受診された患者さんの診療情報。病名、病悩期間、居住地为匿名化し集計する。

【研究目的】

コロナ禍により、癌などの悪性疾患で受診控えにより進行、悪性化が見られたという報告があるが、急性炎症を伴わない良性疾患である直腸隆瘻および肛門括約筋機能不全で当院を受診された患者さんの病悩期間や居住地がコロナの時期と現在で変化しているかどうか、カルテ上の診療情報を匿名化して調査することで、コロナ禍による受療に制限が生じていたかどうか検証し、今後新たなパンデミックが生じたとき、良性疾患の診療においてより適切な医療提供体制を構築する一助とするもの。

【公表・発表予定】 検討の結果は 2025 年 4 月の日本外科学会学術集会で報告予定。

【データ取扱責任者】 副院長・外科部長 村上耕一郎

【お問い合わせ先】 副院長・外科部長 村上耕一郎 tel: 075-955-1151

2. 直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全手術の術中画像を用いた AI 機械学習による手術指導ソフトウェアの開発

【研究課題】

直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全手術の術中画像を用いた AI 機械学習による手術指導ソフトウェアの開発

【研究対象】

2023 年以前に当院で直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全について手術施行された症例の匿名化された術中写真 71 枚と 2024/8~2024/10 の期間に当院で同疾患に対し手術を施行した患者さんの匿名化した術中ビデオ。

【研究目的】

当院では橋本医院と協力して全国でも有数の直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全に対する外科治療を行っており、高い成功率により評価を得ている。一方で他施設で同様の手術を試みても十分な治癒率が得られていない。手術の要点のうち、左右に離断した会陰体の肉眼での同定が困難であることが挙げられる。当院の手術画像を用いて術中に会陰体をリアルタイムで描出できるプログラムを AI 機械学習を用いて作成せんとするもの。

【公表・発表予定】

検討の結果は 2024 年 11 月の日本コンピュータ外科学会大会で報告予定。その後論文発表も予定している。

【データ取扱責任者】 副院長・外科部長 村上耕一郎

【お問い合わせ先】 副院長・外科部長 村上耕一郎 tel: 075-955-1151

3. 直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全の術後 1 年以上の長期経過のアンケート調査

【研究課題】

直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全の術後 1 年以上の長期経過のアンケート調査

【研究対象】

2019 年から 2023 年に当院で直腸腔瘻および肛門括約筋機能不全について手術施行され、1 年間の従来のフォロー期間が終了した症例 126 例に対し、アンケートを送付し匿名の返信ハガキにより集計した現在の愁訴、再発の有無について分析するもの。

【研究目的】

当院およびこれまで手術を主導してきた橋本医院では直腸腫瘍および肛門括約筋機能不全の術後再発リスクがある期間を経験上 1 年間と設定し、その間外来フォローを行い、1 年間問題なければ終診としていたが、3 年ほど経過して再発したとのご相談があったため、既定の診察終了後に再発や愁訴がなかったか集計、評価するもの。

【公表・発表予定】

検討の結果は 2025 年 10 月の日本大腸肛門病学会学術集会で報告予定。その後論文発表も予定している。

【データ取扱責任者】 副院長・外科部長 村上耕一郎

【お問い合わせ先】 副院長・外科部長 村上耕一郎 tel: 075-955-1151

ご自身の診療情報利用の中止をご希望の場合、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
ご氏名、生年月日、受診年度をお伝えいただき、本人確認がとれ次第データ削除します。

